今月の野菜



産地紹介:愛媛県 JAおちいまばり ~しまなみ彩野菜 (伊予美人<さといも>) の取り組みについて~

> 越智今治農業協同組合 営農振興部 営農指導課 西部 純一

1 産地の概要

愛媛県今治市は、愛媛県の北東部・瀬戸 内海のほぼ中央に位置し、タオル、縫製、 造船などを基幹産業として発展をとげた商 業都市である。中心市街がある平野部や、 緑豊かな山間部、瀬戸内しまなみ海道が架 かる世界有数の多島美を誇る島しょ部から なる変化に富んだ地域が、越智今治農業協 同組合(以下 [JAおちいまばり | という |) の管内となっている(図1)。また、農業

については瀬戸内の温暖な気候を利用した かんきつ栽培が盛んであり、地域農業の柱 となっている。野菜についても、多品目多 品種の野菜が栽培されている。JAおちい まばりでは、管内で採れた野菜を「しまな み彩野菜」としてブランド化し、国内屈指 の売上げおよび規模を誇る複合型大型直売 施設「さいさいきて屋」などで販売するな ど、地産地消にも取り組んでいる(図2)。

図 1 JAおちいまばりの管内図



図2 大型直売所「さいさいきて屋」と しまなみ彩野菜のロゴ





JAおちいまばりの令和5年度販売品取扱高

種類	販売高	割合
米	2億2181万円	4 %
麦	868万円	0.1%
野菜	8億1876万円	14%
果実	18億8409万円	31%
花き・花木	5841万円	1 %
畜産物	13億8057万円	23%
その他(直売所)	16億2748万円	27%
合計	59億9979万円	100%

JAおちいまばりの令和5年度販売品取 扱高は59億9979万円となっている(表 1)。このうち、野菜は8億1876万円で あり、全体の14%を占めている。主な品 目はきゅうり、さといも、なすなどである。

愛媛県の令和5年産のさといもの生産量 は、全国第4位となっている。JAおちい まばりのさといもの生産は、約10年前の 平成25年は、作付面積が約7ヘクタール、 生産量が68トン、販売高が1608万円で あったが、直近の令和5年は、作付面積が 約39ヘクタール、生産量が759トン、販 売高が2億750万円と、この10年で作付 面積は約6倍、生産量と販売高は10倍以 上に増えており、JAおちいまばり野菜全 体の4分の1を占める主要な品目である。

2 産地づくりの取り組み

JAおちいまばりのさといも栽培の歴史 は、平成24年の葉タバコ廃作に伴う品目 転換を機に、部会員21戸、栽培面積約2 ヘクタールからスタートした(写真1)。

JAおちいまばりでは、平成28年から農 家所得増大に寄与することを目的とし、管 内20カ所で組合員と意見交換会を開き、 課題を整理して制定した所得増大に向けた 七つの方針「レインボープラン」があり、 ①指導体制の強化②販売戦略③生産資材の 安価供給体制構築と農機事業の充実④農業 経営支援体制の確立⑤農業ファンづくりと

労働力支援⑥地域における課題解決⑦担い 手の育成と活力ある産地づくり―からな る。

また、この中で、7品目を重点推進品目 として掲げたが、その一つにさといもを選び、 生産量を重点的に拡大していくこととした。

令和6年度のJAおちいまばりの里芋部 会は、部会員数86人、部会員の平均年齢 は59歳であるが、直近3年で新規部会員 が28人増加し、その平均年齢は49歳と多 くの若い世代が栽培を始め、新旧メンバー でおいしいさといもを作るため、日々切磋 琢磨をしている(写真2)。

新規部会員に対しては、生産拡大に向け た助成や栽培管理の支援を行った。また、 後述するが「愛媛さといも広域選果場 | に より集荷ロットの拡大や長期安定出荷、コ スト低減の取り組みなどが進展した。この ように、生産から販売までをトータルでサ ポートした結果、JAおちいまばり管内で は平成30年から令和元年にかけて、農家 1戸当たりの所得が61%増加した。

3 生産・栽培上の特色

さといも栽培は水田を活用できることが 大きな強みである。水稲の作業とも競合せ ず湿害もないが、連作を嫌うため、多くの 生産者は、前作で水稲を栽培した場所でさ といもを栽培し、栽培する圃場を入れ替え ながら、水稲や麦との輪作を行っている。



JAおちいまばり さといも栽培の風景



写真2 里芋部会令和5年度販売高2億円達成祝賀会の様子

主な作型は図3の通り。3~4月に定植し、 夏場の暑さに負けず、かん水や除草、施肥 や防除をしっかりと行っている(写真3)。 さといもの栽培期間中は生育に大きく影響 する水の管理が重要であるため、夏場には 2~3日に1回かん水を行っている。病害 虫の対策にも注力し、水を切らさないよう

管理し育てたさといもは、夏頃には背丈ほ どの草丈になる(写真4)。収穫は、葉が ある程度倒れた9月下旬頃から始まり、翌 4月まで長期間にわたり出荷を行っている (写真5、6)。丁寧に掘り起こしたさとい もは、一株ずつ土を落としながら分割して 収穫する。

図3 JAおちいまばり さといも栽培カレンダー

$oxed{11} oxed{12} oxed{1} oxed{12} oxed{1} oxed{1} oxed{2} oxed{1} oxed{3} oxed{4} oxed{5} oxed{6} oxed{7} oxed{8} oxed{9} oxed{10} oxed{11} oxed{12} oxed{1} oxed{2} oxed{1} oxed{2} oxed{3} oxed{4}$ 土づくり・ほ場準備 収穫・調製・出荷 基肥・敵立て・マルチ → 定植 土入れ 作付ほ場 芽出し・芽かぎ・草引き 病害虫防除・除草 前年ほ場 収穫・調製・出荷

⇒ 機械化が可能な作業



さといもの定植作業 写真3



写真4 夏場の圃場風景



写真5 収穫風景



写真6 さといもを土から掘り取ったもの

手作業の農家と機械化している農家があ り、掘り取りのみを機械化した部会員や、 定植から掘り取りまですべて機械化一貫体 系とした部会員までさまざまな体系があ り、作付規模によりその面積と労働力に見 合った機械を選択し栽培を行っている(写 真7)。機械は各部会員で購入するが、新 規参入や増反を行う部会員に対しては、農 協から機械の半額助成(1機械の上限は 35万円、1農家の上限は50万円)を行っ ており、機械化の導入に当たる栽培規模の 分岐点はおよそ1ヘクタールと見込んでい る。このように部会員とJAおちいまばり が協力して機械化一貫体系や、栽培規模に 応じた機械の導入を推進することにより、 省力化につながり、栽培面積の拡大が実現 した。また、前述の通り、これらが農業所 得の増大にもつながっている。

また、その他の取り組みとして、重労働 となる収穫などの作業については、JAお ちいまばりが人材派遣会社と業務委託契約 を結び、労働力不足解消に向けて対応して いる。

栽培管理において重要な作業が防除であ るが、特に夏場は暑く、さといもの葉も大 きく成長していることから、非常に労力の かかる作業となっている。そこで水稲で一 部行っていたドローン防除を試験的に活用 し、労働時間の短縮と防除効果について検 証を行っている(写真8)。

JAおちいまばりでは、生産面積拡大と 単収の増加を目指し、「里芋機械化体系支 援事業 | や「派遣労働者研修事業(野菜収 穫支援) といった助成事業を展開してお り、管内一丸となって生産量拡大に取り組 んでいる。

また年に複数回、愛媛県や今治市などの 行政や全国農業協同組合連合会愛媛県本部 (以下「JA全農えひめ」という) などの関 係機関と連携して栽培講習会を行い、より よいさといも生産ができるよう地域全体で 取り組んでいる。

4 出荷の工夫(加工・業務用も含む)

JAおちいまばりのさといもは「愛媛農 試V2号 | という愛媛県オリジナルの品種 を栽培している。平成20年2月に愛媛県 が品種登録した愛媛農試V2号は、JA全農 えひめが商標登録し、愛媛県内のJAから 出荷されたものだけを「伊予美人」という 名でブランド化し販売している。

JAおちいまばりは、令和3年3月より 東予地区の3JA(JAうま、JAえひめ未来、 JA周桑)と連携し、愛媛さといも広域選





栽培規模に合わせたさといも収穫の機械化の様子



試験散布を行ってい 写真8 るドローン防除

果場(四国中央市)で共同選果を開始した。 これまで選果基準がバラバラであったもの を、基準を統一し広域で集荷をすることに より、出荷ロットもまとまり、近年問題に なっている物流問題についても、1車1~ 2市場へ集中して出荷できるようになっ た。また量が確保できるようになったこと により、愛媛県産ブランド「伊予美人」を 全面的にアピールしたことで、市場からの 評価もこれまで以上に高まった。関西圏を 中心に指名買いされるようになり取引価格

も安定した。

5 販売戦略

毎年行われている災害復興イベントに参 加し、兵庫県にある甲南大学でさといもの 販促活動を対面で行い、産地のPRやさと いも「伊予美人」のおいしさを若い世代に 知ってもらうためのイベントを実施し、認 知度の向上と今後継続して購入してもらえ るような取り組みを行っている(写真9)。





甲南大学での販促の様子 写真9

◆一言アピール◆

- ・さといもには、親いも、子いも、孫いもがあり、場所によって柔らかさや食感などが少しず つ異なります。
- ·「伊予美人」は柔らかく、さといも本来の粘りも強い一方、濃厚な甘みを持ち、白くきめ細 かな食感であり、味に癖がないのでどんな料理にも相性が抜群です。
- ・JAおちいまばり産「伊予美人」は、寒い季節は芋炊きや煮物、あんかけなどがおすすめです。 心も身体もほっとするおいしさをぜひお試しください!

【伊予美人 3つのスゴイ!】

①味の良さ やわらかく、粘りも強くうま味がある!

②栄養豊富 特有のネバネバには栄養素がいっぱい!

③変幻自在の調理法 色白だから見た目も美しい!

味に癖がなくどんな料理にも相性バツグン!

◆お問い合わせ先◆

担当部署:越智今治農業協同組合 営農振興部 営農指導課

住 所:愛媛県今治市阿方甲246-1

電話番号: 0898-34-1871 FAX番号: 0898-23-3764

ホームページ: https://www.ja-ochiima.or.jp